

平成28年度狂犬病予防注射と巡回畜犬登録の日程

【狂犬病予防注射】

飼い主は毎年1回（4～6月）飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせることが法律で義務付けられています。都合のよい時間、会場をご利用ください。

※畜犬登録済みの方は、個人宛に通知書を郵送します。

●料金 1頭につき3,260円（内訳：注射代2,560円、注射済票交付手数料700円）

【予防注射の日程】

実施日	場所	実施時間
5月8日(日)	役場駐車場	9時～11時
5月14日(土)	役場駐車場	13時～15時
5月18日(水)	なんぼろ動物病院	9時～11時
5月22日(日)	夕張太ふれあい館	9時～10時
6月1日(水)	川向会館	9時～9時30分
	三重レークハウス	9時45分～10時30分
	中樹林福祉の家	10時45分～11時15分
	鶴城寿の家	13時15分～13時45分
	西幌会館	14時～14時30分
	夕張太集落センター	14時45分～15時15分
	晩翠集落センター	15時30分～16時
6月8日(水)	なんぼろ動物病院	9時～11時



※期間内に受けられない場合は、町内の動物病院でも通年受けることができます。

◎なんぼろ動物病院 栄町2丁目1-18 (☎378～5828)

◎J. YUKI診察舎 南12線西14番地 (☎378～0789)

※獣医師が発行する注射済証明書住民課窓口へ提出し、注射済票の交付手続きを行ってください。

【犬の登録制度】

犬の飼い主は生後90日を経過した愛犬を登録しなければなりません。

●新規に登録する場合は、登録料として1頭につき3,400円がかかります。

お問い合わせ：住民課環境交通G

「ペットの行動の変化からわかる病気のサイン」

動物と一緒に生活していると、生きていて楽しいと感じられ、やすらぎや穏やかな気持ちになります。食事や排せつの世話は大変ですが、触ったり見つめることで愛情を注ぐ対象がいるのは幸せなことです。

ただ、動物たちは言葉が話せないぶん、具合が悪いことは教えてくれません。病気かどうかは家族である飼い主の方が見つけることが大切です。

心臓が悪い犬は、安静にしているときの呼吸数の増加で判断することができます。安静時で1分間に呼吸数が40回以上になると、心肺機能の異常のサインであることがわかっています。

たくさん水を飲んで、おしっここの量や回数が多い場合は、腎臓の病気、糖尿病、ホルモン失調が疑われます。排泄物の異常は様々な病気のサインであり、獣医師にヒントを与えてくれます。

猫が爪とぎをしなくなると、どこかに痛みを抱えていることがあります。猫はあまり痛みを表現しないため、普段と違う行動から見つけてあげることが重要です。

「何かをするようになった」ことよりも、「何かをしなくなった」ことから気づくことは難しく、行動の変化がわかるのは飼い主の方だけです。遊ばなくなった、喜ばなくなった、歩き方がおかしいなど、変化に気がいたら動物病院に相談されることをお勧めします。



なんぼろ動物病院 獣医師
魚住 大介